

区社協事業のご案内

令和2年度

さかえ ふれあい助成金説明会

さかえ ふれあい助成金は、区民同士の支え合い活動によるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的としています。

募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。

- 日時：① 令和2年3月25日(水) 10時～
② 令和2年3月25日(水) 14時～
(①、②とも、同一内容です)

場所：ピアハッピー栄

申込方法：団体名・参加者氏名・電話番号・希望日を明記の上、ハガキ・FAX・電話で3月18日(水)までにお申込みください。



※会場の都合上、各団体1名の参加をお願いします。
※助成金の申込みは、令和2年4月13日(月)～4月24日(金)です。
申込みされる場合は、なるべく説明会にご参加ください。

栄区社会福祉協議会 栄区桂町279-29

問合せ 電話：045(894)8521
申込先 FAX：045(892)8974

第21回

ようこそ・であい広場

栄区福祉保健活動拠点を利用しているグループによるお祭りです。

栄区内のボランティアグループ・当事者グループ・障害者施設等の活動PRや地域との交流を図るため開催します。

日時：令和2年3月7日(土) 10時～14時

場所：ピアハッピー栄
内容：バザー(リサイクル品・手作り品)
食べ物いろいろ模擬店
パソコン体験コーナー
子どもの遊びコーナー

主催：ようこそ・であい広場 実行委員会



フードドライブ実施します。

ご家庭で使い切れない食品がありましたらお持ちください。

区社協ホームページでも事業紹介をしています。



本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。

【編集後記】

五年前に三男が仕事の関係で、山奥の田舎に引っ越しました。引っ越した直後に、町会の方が訪問してくださり、町会の仕事やイベントなどを丁寧に教えてくださいました。本人も町会の仕事の大変さを、様々な人と関わる中で貴重な経験をさせて頂いており、今では地域の方達や小さな子供達からも、慕われるようになりました。

一方、最近、次男が職場に近い地域に引っ越しました。周辺には大学があり、若い人達が多い地域です。不動産屋さんから「近所の挨拶回りは必要無いので、会ったときに挨拶すれば良い」とのことでした。地域の特色やルールは様々です。安心・安全に暮らすには、一人ひとりのモラルや地域を大切に、人と人の温かい繋がりが大切なのは、息子達の自立を通して実感しました。(寺本)

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】

豊田(福田 賢二) 笠間(田中 貞代)
小宮ヶ谷(瀧井 秀治) 本郷中央(長沼 勲)
本郷第三(寺本 久美子) 上郷西(戸川 弘志)
上郷東(湖上 忍) 新木(中澤 孝子)
こすげ(小野寺 淳子) 荻原(角田 和江)

栄区桂町279-29
045(894)8521

さかえ区社協だより No.51

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町 279-29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

電話 045(894)8521 Fax 045(892)8974

E-MAIL: office@sakaeku-shakyo.jp URL: http://www.sakaeku-shakyo.jp

令和2年2月1日発行

承認：栄区連第148号

食で広がる福祉の輪

みなさんは「食の課題」についてどのようなことを思い浮かべますか？
環境というキーワードで考えると、食品ロス問題。まだ食べられる食品が大量に廃棄され、環境破壊にもつながっています。
福祉というキーワードで考えると、孤食(一人きりで食事をする)や貧困が理由で十分な食事を摂れていないということが起こっています。

栄区社会福祉協議会(以下、栄区社協)では、福祉の「食の課題」への取り組みとして、企業やフードバンクなどの食料支援団体と連携して活動を行っています。



企業の地域貢献

セブン-イレブン・ジャパンと横浜市、横浜市社会福祉協議会は平成30年4月に商品寄贈に関する協定を締結しました。これにより、栄区社協では、寄贈品を必要としている世帯や団体、社会福祉に関係する施設などへ配分する役割を担いました。

資源循環局と取り組むフードドライブ*

平成30年度、令和元年度に栄区民まつりで横浜市資源循環局とフードドライブを実施しました。栄区社協では集まった食品を必要としている団体などへ配分しました。

フードバンクかながわと協定の締結*

フードバンクかながわと協定を結び、月に一度、食品の寄贈を受けています。

フードバンク横浜との連携*

フードバンク横浜に寄贈された食品や介護用品の配分調整を栄区社協が行いました。

食で広がる福祉の輪 もっと具体的にみてみよう!

※フードドライブ・フードバンクとは…
家庭で使いきれない食品を持ち寄り、食べ物を必要としている人や福祉団体などへ寄付する活動です。寄付していただいた食品を一時的にストックし、必要なところへ配分することから、食品の銀行「フードバンク」と呼ばれています。

区社協ホームページでも事業紹介をしています。詳しくはこちら 栄区社協 検索

視覚障害のある方にも広報誌の情報を提供できるように音声版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。

Aさんの事例
 「人の世話にはなりたくない!」と書いていたAさん。自宅に引きこもり、心配して様子を見に来た支援者に対し、扉を開けてくれません。Aさんでも食べられそうな物を持って、「召し上がりませんか?」と声を掛けるところ、扉を開けてくれました。
 それからは、少しずつAさんとの関係がすすみ、Aさんに必要な支援が届くようになりました。

寄贈された物の中には栄養ドリンクもありました!
 施設で利用者の方を支えている職員のみなさんに使っていただきました!



もったいないからありがとうへ



地域猫への支援にも
 栄区内のある町内会では、増えすぎた地域猫へ、適切な食事の提供や医療的な支援を行っています。猫の餌は町内会が負担しています。寄贈品の中に猫の餌があり、いつも猫の世話をしてくださっている町内会で活用していただきました。

若い世代にも伝えたい
 駅前で行われるさかえ福祉フェスタ。柏陽高校の様々な部活動の生徒さんが一緒に盛り上げてくれます。協力してくれた高校生へ寄贈をされたお菓子でお礼をしました。この取り組みが環境にも地域福祉にも役立っていることを若い世代へも伝える機会となりました。

区社協が進める食と福祉の取り組みには、多くの方とのネットワークが活かされています

ご協力くださっている団体・組織の紹介

- 栄区民のみなさま
- 栄区内の福祉施設
- 栄区内で活躍するボランティア団体
- 栄区内の企業
- セブーンイレブン・ジャパン
- フードバンクかながわ※1
- フードバンク横浜※2

※1、2：フードバンクかながわ、フードバンク横浜では、食料品の受付も行っております。詳しくは各団体へ直接、お問い合わせください。

公益社団法人フードバンクかながわ…045-349-5803
 NPO法人フードバンク横浜…045-512-4965

栄区福祉保健活動拠点のお祭り「ようこそ・であい広場」にてフードドライブを実施します!

日 時：令和2年3月7日(土)
 10時～14時
 場 所：栄区福祉保健活動拠点 (ピアハッピー栄)

受付食品
 缶詰、レトルト食品、インスタント食品など

※賞味期限が2か月以上あり、常温保存ができ未開封のものに限ります。
 ※生鮮食品は受付できません



ご協力
 お願いします!

第33回栄区社会福祉大会が開催されました

令和元年11月21日(木)第33回栄区社会福祉大会(主催：栄区社会福祉協議会、栄区内7地区社会福祉協議会)がたちーらんど(栄公会堂)で行われました。

第1部の式典では、次のみなさまが表彰されました。(敬称略・順不同)

【ボランティア活動功労】					
川崎 啓子	早川 房子	武藤 弘	小泉 進	小関 みつ江	
しらゆり会	うらら会	Erba	豊田男塾	カフェあおば	
サロン・ド・アイ			親子カフェにじいろ		
本郷台キリスト教会			ゴスペルフラ カイマナ		
子育てサロンの〜び♥のび運営委員会					

【金品寄託功労】

上山 由美子



【福祉団体活動功労】

伏木 幸江	田中 友子
武井 和子	片山 榮一
中島 文子	大關 千恵美
星 明男	原田 玲子
高橋 純	吉田 迪矩



第1部
 式典の様子



第2部
 演奏会の様子

第2部ではピアニストの宮川久美さんをお招きし、演奏会を開催しました。

宮川久美さんは東京芸術大学卒業後、勉強のためカナダに渡り、2010年からは活動拠点を日本に移し、国内外にて活動しています。福祉施設・小中学校・保育所等におけるボランティア演奏会も積極的に行っています。楽しいお話とすばらしい演奏で大好評に終わりました。

会員団体 活動 訪問記

「さかえ・グリーンシ協力隊」

～剪定などの有償ボランティア活動で地域に貢献～

さかえ・グリーン協力隊は横浜市桂台地域ケアプラザを拠点として、剪定ボランティア講座で出会い交流を深めた有志で、平成29年3月に発足しました。高齢者や健康上の理由などで雑草とりや剪定作業などが困難な地域(栄区内)のみなさまを対象に、庭のお困りごとを解決するボランティアグループです。メンバーの方々の年齢は64歳～86歳と幅が広く、現在20名で活動しています。また、「庭園技能講座」を受講して、知識や技能を高めながら、明るく元気で活動の輪を広げています。

はじめに希望する方のお話をしっかり聞いて、見積りをします。1回ごとに4～5人を派遣して2時間程度作業をします。

今回お話をうかがった副代表の佐久間さんは「このようなボランティアをすることで自分も健康になったよ。外に出て人々とふれ合い、話しをすることも大切で、健康で長生きできて、寝たきりにならないことが目標だね。有償ボランティアだから、たまにはみんなでちょっと飲みに行く楽しみもできるよ」と笑顔でお話していただきました。「活動に参加してくだ

さる方は、活動経験や剪定知識がなくても大丈夫です。是非、桂台地域ケアプラザにご連絡ください」とのことでした。(田中・湖上)

